

『日本靈異記』「見烏邪淫^猥世修善縁」

【之】

〇

抱之而臥
抱きて臥す

見之無妻烏
妻烏無きことを見る

大領見之
大領見て

子飲乳而歎之
子乳を飲みて歎きて

其斯謂之矣
其れ斯れを謂ふなり

厭者背之
厭ふ者は背き

愚者貧之
愚者は貪る

【者】

飲母乳者
母の乳を飲めば

見苦悟道者
苦しみを見て道を悟らしむといふは